

熊本市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた  
平成29年度の目標とその達成状況

目標：地域相談支援のさらなる活用と制度の検証（地域相談支援を各区で1事例以上上げる）

【達成状況】

今年度の申請件数は、市内全域で地域移行支援2件(1件申請予定)、地域定着支援1件であり、少ない現状は続いている。対象者の選定方法や病院・相談支援事業所の役割等を部会で共有しながら制度の検証をしていく必要がある。

目標：地域移行支援制度の一層の普及・啓発（病院職員向け研修、ピアサポーター活動拡大、啓発ツール作成）

【達成状況】

病院職員向けの院内研修は18病院のうち2ヶ所のみ実施。今後も実施病院が増えるよう働きかけを行う。ピアサポーターの活動件数は、徐々にではあるが増加傾向（H27:15件、H28:17件、H29(1月末):19件）。啓発ツールとして、退院支援ポスター及びリーフレットを作成中であり、年度内に医療機関等に配布予定。

目標：区毎の取り組みとの連携と情報共有

【達成状況】

協議の場（精神障がい者地域移行支援部会）の中で、定期的に各区の取り組み状況を報告し、情報共有を行った。

目標：高齢介護関係機関向け研修の検討

【達成状況】

市内全域での研修は未実施だが、区毎の関係機関による連絡会で地域包括支援センター等にも呼びかけを行い、精神疾患に関する研修や地域移行の事例紹介等を実施した。

平成30年度の実行方針（案）

1. 地域相談支援を活用した事例の検討
2. 相談支援事業所や高齢介護関係機関との連携を目的とした研修会や意見交換会の実施
3. 関係職種（介護、リハビリ）の取り組み紹介
4. ピアサポート活用の実践報告と効果検証

※後日、協議の場で検討後に方針を決定する予定。